

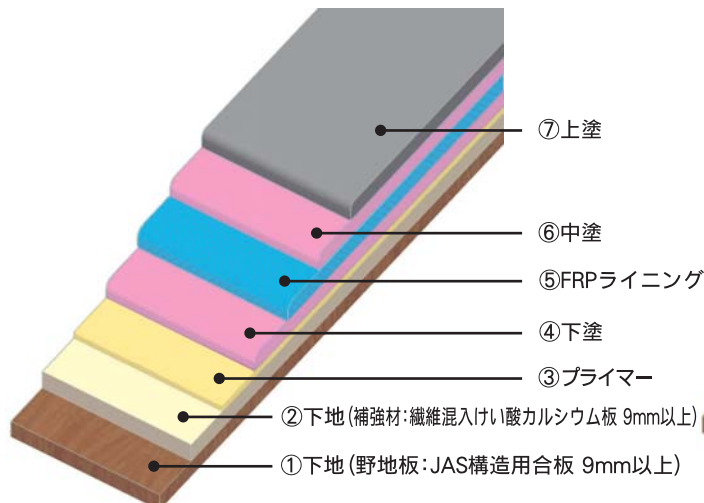
# 防火工法

用途：ベランダ・バルコニー・陸屋根  
防火地域・準防火地域及び建築基準法第22条地域対応  
国土交通大臣認定仕様（飛び火試験合格）

## FP-DR 1 防火工法 1プライ仕様 露出軽歩行用(フラット仕上/ノンスリップ仕上)平均膜厚2.5mm

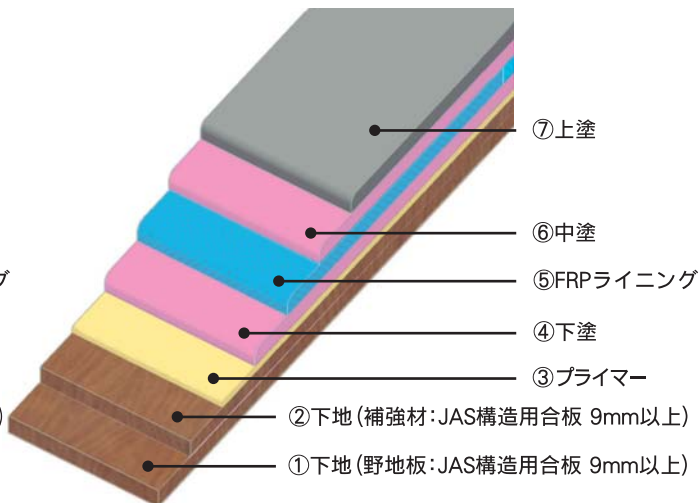
### 補強材Ⅰ：セメント板の場合（ページ⑧参照）

認定番号 DR-1640 下地(支持部材 木製)の場合  
認定番号 DR-1644 下地(支持部材 鋼製)の場合



### 補強材Ⅱ：木質系ボードの場合（ページ⑧参照）

認定番号 DR-1639 下地(支持部材 木製)の場合  
認定番号 DR-1643 下地(支持部材 鋼製)の場合



標準施工工程（防水トップコートPC-008TPのフラット仕上の場合）

施工工程	使用材料	塗布量(kg/m <sup>2</sup> )	施工方法
① 野地板	木質系ボード:JAS構造用合板 9mm以上 下地は十分乾燥(含水率9%以下)させます。新設コンクリートの養生期間30~45日です。 ※下地(コンクリート系):鉄筋コンクリート50mm以上の場合、野地板及び補強材は必要ありません。		
② 補強材	I.セメント板:繊維混入けい酸カルシウム板 9mm以上 規格:建設省告示第1400号(JIS A5430) II.木質系ボード:JAS構造用合板 9mm以上 ※IもしくはIIを使用します。※詳細は別途「認定書」参照 下地は、十分乾燥(含水率9%以下)させます。表面のホコリ・泥・砂・油等は除去・清掃します。外Rは、6R以上に面取りします。		
③ プライマー	バイオニャシーラー#100	0.3	ローラー・刷毛で塗布します。
不陸調整	QコートパテE		凹凸・クラック部を充填します。内Rは、10R以上にパテ埋めします。
④ 下塗	ポリキュートPC-640FXT	0.8	FRPローラーで塗布します。
⑤ FRPライニング	ポリキュートPC-640FXT	0.6	FRPローラーで塗布します。 直ちにガラスマット#450を敷設し(重ね代50mm確保)、 FRPローラーで塗布含浸させた後、脱泡ローラーで脱泡します。
	ガラスマット#450	0.45	
	ポリキュートPC-640FXT	0.6	
点検・補修	浮き・膨れの発生したFRPライニング層は、カッターやディスクサンダー等で切り取り、⑤の工程で部分補修します。		
⑥ 中塗	ポリキュートPC-640FXT	0.5	FRPローラーで塗布します。※着色可
FRP層調整	FRP層表面の凹凸・毛羽立ち等をディスクサンダー・サンドペーパー等で除去し、平滑にします。		
⑦ 上塗	防水トップコートPC-008TP	0.4	FRPローラーで塗布します。

\* 勾配は1/100以上とし、水がたまることなく速やかに排水できるようにして下さい。

\* QコートパテE・ポリキュートPC-640FXT・防水トップコートPC-008TPには硬化剤が必要ですので、可使時間にあわせて硬化剤を0.6~3.0%添加後、十分に攪拌して使用して下さい。

\* 下塗、FRPライニング・中塗用の樹脂には別品番ポリキュートP-2・ポリキュートPC-660FXも使用可能です。

\* 上塗には、防水トップコートPC-008TP-NS(ノンスリップ)タイプもあります。

\* 必要に応じ脱気筒の使用を検討下さい。

### 試験状況（飛び火性能試験）

